

議 審 中 集 中 委 算 予 衆

今週の国会
原賠機構法案
「原発共同体」を温存

週明けの国会は、民主、自民、公明3党が繰り広げていた政争によって2週間に及んでいた空転が終息し、正常化される見通しです。
5日に衆院、6日に参院の各予算委員会菅直人首相が出席して集中審議を行うとともに、7日の衆院本会議で政府が出している原子力損害賠償支援機構（原賠機構）法案に対する質疑が行われる見通しです。

日本共産党は、国会延長や自民党参院議員の総務政務官任命をめぐる民自公が政争に明け暮れていることについて、「被災者そっちのけの政争であり、空転の責任は両方にある」（穀田恵二国対委員長）と批判。原賠機構法案や2次補正予算に盛り込むべき中身、原発再稼働問題などについて、「十分な審議を行い国会としての責任を果たすべきだ」と主張しています。

原賠機構法案は、事実上破たん状態にある東電を存続させ、公的資金も投入して賠償を行うもの。株主や大銀行に責任を負わせることもなく、政・官・業癒着の「原発利益共同体」を温存するものです。政府・与党は2次補正予算案の提出前に早期成立させることをねらっています。

日本共産党は「2週間も空転

させておいてまともな審議もせず補正予算や各法案を処理することはあってはならない」と指摘し、十分な審議を行うよう求めています。

この間、復興構想会議による提言や「税と社会保障の一体改革」の名による消費税増税などが打ち出されました。これらも再開国会の重要なテーマです。

復興構想会議の提言について日本共産党は「創造的復興」の名のもとに被災者の願いを押さえ込もうとしている」（市田忠義書記局長）と批判。「一体改革」の名による消費税増税について「社会保障を切り捨てておいて、一方で消費税を上げるといっただけが考えても言語道断だ」（志位和夫委員長）と強調しています。

2011年7月3日(日)「しんぶん赤旗」

原発ゼロへ2万人 福島から全国から 7・2緊急行動 東京明治公園

「原発ゼロ」をめざし全国で大運動をおこそうと2日、東京・明治公園で開かれた7・2緊急行動（同実行委員会主催）。公園が人、人、人でうめつくされ、実行委員会が「集会参加者は2万人以上となりました」と発表。東京電力福島第1原発の事故後、最大級の集会となりました。原発事故の被害が続く福島県からは、福島市、郡山市、いわき市から300人以上がバスを借り切って駆けつけるなど、北海道や九州、全国から続々と参加者が到着。

郡山市に住む男性（71）は、住んでいた福島県富岡町を原発事故で追われ、また、「いくつも避難所を転々とし、まるで国からがれきの一部として扱われているようでした。故郷を失う経験を誰にも繰り返させたくない」と語りました。

ツイッター（インターネット）や口コミで、これまで原発問題に関心がなかった人たちも、数多く参加しました。近所の友人に誘われ、4歳の娘を連れて参加した女性（32）は、「この子を外で遊ばせてもいいのか。政府が信用できないので、自分で勉強したくて来ました」と話しました。

「東京電力、国は海、空、大地を放射能汚染した責任を認め全面賠償せよ！」などスローガンが掲げられたステージでメイン集会が行われました。呼びかけ人を代表して伊東達也さん（原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員）が「国策によってもたらされた苦しみ、悩み、怒り

東北地方・太平洋沖地震への救援募金に「協力」を
日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。
【郵便振替口座】
00170017198422
名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願いします。

磯城郡日本共産党議員団

を共有し、全国各地で草の根の運動に立ち上がるうではありませんか」と訴えると、会場から「そうだ」といっせいに呼応する声があがりました。
来賓あいさつに立った日本共産党の志位和夫委員長は、「安全な原発などありません。世界有数の地震大国日本においては、ますますもってそんな原発はありえません。危険をなくす方法はただひとつ。原発をなくすしかない」「原発からの撤退」の一点で力をあわせ、それを強く政府にせまっていこうじゃありませんかと、呼びかけました。

福島瑞穂社民党党首、イタリア労働総同盟のメッセージが読み上げられました。福島や静岡など原発立地県の元町長、住民、市民団体代表が、被害体験、原発ゼロへの切実な思いを次々に発言。ひときわ大きな共感を呼んだのは、愛媛大学3年生の中山歩美さんの発言でした。伊方原発がある愛媛県にすむ中山さんは、これまで自分たちは原発は絶対に必要なものと思いこまされてきたといいます。しかし、福島の事故後みんなと学ぶなかで、原発が必要な社会を政府や電力会社がつくりあげていたことを知りました。

「私たちの未来に危険な原発はいりません」と訴えると、会場は歓声と拍手に包まれました。
集会は、「今日を契機に、『原発ゼロ』をめざす大運動を開始しましょう。この場に集まった私たちが、大運動の先頭に立ちましょう」とするアピールを採択。終了後、プラカードやブース企画でつくったグッズを持ち、都内をパレードしました。

メイン集会に先立ち約30のブースで、原発ゼロをめざす行動・運動の交流会、学習会、自然エネルギーの展示会などの企画が開催されました。

この日の行動は、JCJ（日本ジャーナリスト会議）によりインターネットで中継されました。
2011年7月3日(日)「しんぶん赤旗」

2011, 7, 5 NO, 508
日本共産党
磯城郡議員団だより
和也 Eメール info@k-shiba.jp
芝川西町結崎862-7 0745-43-2415
田原本町大木113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵281-1 0744-33-8570
(事務局)池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風440-5 0745-43-2661



梅本こころ（バレリーナ）

第2回・かがやけみやけフェスタが3日午後、時半から町文化会館で開かれ、第1部は式下中学校吹奏楽部の演奏、第2部でバレリーナの梅本こころさんの講演が行われました。

梅本こころさんは三宅町東屏風団地の出身で、小中学校を三宅町で暮らし、中学校を卒業と同時に上海のバレリー学校に留学、ヨーロッパのバレエ団に所属し練習してきた。経過など紹介されました。梅本こころさんについては、1月18日の朝日新聞で「ヨーロッパでオペラ座で日本人初の主役を演じ、現在、オペラ座のプリンスバル（最高位）で頑張っておられます。講演の中で、「挫折や



池田 年夫
三宅町

水つき対策

今月から暦が一つ進んで七月ですね。今年は梅雨入りが例年に比べて十日以上早かったです。明けるのもやっぱり早いです。前にも書きましたが、梅雨末期の集中豪雨がどうも頭から離れません。だとすれば、これからが要注意と言う事になりますね。

先月の六月議会でも、やはりこうした大雨による水つき対策が小学校の建て替え問題の中で話題になりました。小学校の体育館は、洪水による水つき時に住民の避難施設として指定されています。十分に機能を果たせるように、床をどの程度の高さに設定するかなど、検討課題として議論がなされました。



川西町議会議員
芝 和也

六月議会の報告会

去る七月二日（土）議会報告会を青垣生涯学習センターで開きました。新しい参加者も数人おられ、この六月議会に取り上げられたポトピアの問題に対する関心の高さが伺えました。ポトピア設置に反対の意見は圧倒的に多かったのですが、中には「町が活性化するのは？」、「ポトピアなんて小さい事言っていないでカジノを持って来てはどうか」という意見も飛び出さずやらずで、中々面白い議論となりました。

ポトピア設置に反対する会の代表の酒井氏は、「いいよいよ大詰め」という事で、七月十一日の午前十時から再審議する委員会に、そして十四日の午前十時以降に採決され

る本会議を見届けました。う！と訴えられました。請願署名は、この間もどんどん増え続けているようです。先日も署名用紙が欲しいという方がいたので、私が届けに行くたので、「継続審議」という事は、ポトピアに賛成という事になる可能性があるって事やな？議員は何を考えてんの？子どもの事、考えてないんか！とかなり怒りを込めて言われた女性もおられました。



田原本町議会議員
森 良子

防災行政無線導入

先の六月議会で、デジタルMCA（マルチ・チャンネル・アクセス）同報通信システム設備工事請負契約が提案されました。町の防災無線を設置する工事で、西日本電信電話株が一億五千万円で落札しました。

町内に四十六本の柱を立てそこに四個のスピーカーを取り付けます。役場総務課のセンター設備からいっせいで通信、グループ通信、戸別通信が出来ます。また、小学校等に無線設備を配置しておく、学校から役場に双方向通信も出来ます。町は、



田原本町議会議員
吉田 容一